



JAPANESE RED CROSS TOYOTA COLLEGE OF NURSING

Vol.41

ITOSUGI

いとすぎの丘

- 大学行事
- RCT☆LINK
- きらめく卒業生
- 研究のトビラを開く
- Information



日本赤十字豊田看護大学

大学行事

学位記授与式・入学式を挙行了しました

3月12日（水）に令和6年度学位記授与式を挙行了しました。

太田豊田市長をはじめ多くの御来賓・卒業生のご家族の方々に見守られながら、博士課程2名・修士課程9名・学部生138名が新たな門出の日を迎えました。

式典では百瀬学長から卒業生・修了生に向けてメッセージが送られ、またご来賓の皆様から、温かい激励のお言葉を頂きました。

式典後の第2部では、研究科長・学部長等から修了生・学部生全員に学位記をお渡ししました。修了証書・学位記を受け取った皆さんの笑顔がとても素敵でした。



春の優しい香りに包まれた4月4日（金）、令和7年度入学式を挙行し、本学は博士課程1名・修士課程4名・学部生133名の入学生を迎えました。

新入生の皆さん、ご入学、誠におめでとうございます。皆さんのこれからの学生生活が実り多きものになりますよう応援しています。



RCT☆LINK

学生生活の紹介コーナーです。在学生が次の在学生にバトンを渡して繋がっていきます。今回は4年生の酒井未来さんです。

皆さん、大学生活をいかがお過ごしでしょうか。私は、現在3年生の全ての授業、試験、実習を終えることができました。大学入学から今までの約3年間で振り返ると、試験や課題に苦労することも多くありましたが、充実していたと感じています。そして今は、就職活動や看護師、保健師国家試験等に不安を感じながらも、最後の大学生活をより充実した1年にしたいと思っています。

昨年の10月から始まった看護学実習は、半分が終了しました。2年生までの実習とは違い実習期間は長くなり、記録や看護援助が増え、大変になると周りから聞いていたため、3年生の実習が始まるまでは不安でいっぱいでした。しかし現在は、緊張感は常にありますが、それ以上に実習が楽しいという気持ちになりました。それは、新しい学びがあったり、困りごとがあると共



に考えてくれる先生や実習メンバーに支えてもらっているからだと思います。正直なところ、実習では今までの学習が身についておらず、反省することもありました。しかし、患者さんを想うと、全力で実習に取り組まなければならないと奮い立たされます。4年生の実習でも努力を惜しまず、取り組んでいこうと思います。

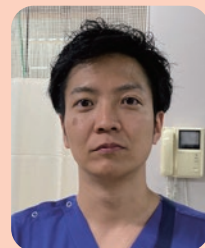
また、この1年は看護の学びを深めるだけでなく、好きなこと、興味のあること（例えば海外旅行に行く）など、積極的に挑戦していこうと思います。

⇒次回RCT☆LINKは

4年 加知遥翔さんです

今回は、診療看護師（Nurse Practitioner：NP）として活躍する水野皓介さんにインタビューをしました。NPとは、「患者の生活の質の向上のために医師や多職種と連携・協働し、倫理的かつ科学的根拠に基づき一定レベルの診療を行うことができる看護師」を言い、NP教育課程のある大学院を修了し、認定試験に合格することで資格を取得することができます。NPとして働く水野さんの言葉からは、医師の業務を補完する役割を果たす一方で、患者さんや家族を大切に想う赤十字看護師としての使命と誇りが感じられました。

日本赤十字社
愛知医療センター
名古屋第二病院 勤務
水野皓介さん
2010年3月卒業（3回生）



卒業後のキャリアを教えてください。

卒業後、名古屋第二病院のICU（集中治療室）に6年間勤めた後、救急外来で2年間働きました。その後、一度退職して大学院でNPの資格を取得し、再び同病院に就職しました。ちょうど、名古屋第二病院がNPを求めていることから、運よく元の病院に戻ることができました。現在は、NP支援課に在籍し、自身が希望した配属先である救急科で勤務しています。また、院内救急対応チームと末梢挿入型中心静脈カテーテルチームに所属しているので、部署横断的な活動もしています。

診療看護師を志した理由と現在の業務内容について教えてください。

NPを目指したのは、ICUや救急外来での看護においてもどかしさがあったためです。例えば、救急外来に患者さんが来た時、1番最初に駆けつけるのは私たち看護師ですが、看護師は検査や治療をオーダーすることはできませんので、苦しそうな患者さんを前にして十分な対応ができないことにモヤモヤしていました。ちょうどその頃、NPの取得を目指す先輩の存在を知り、“自分もなりたい!”と思いました。

現在は、NPとして救急外来に勤務しています。そこで、患者さんが受診された時の初期対応やアセスメントをして、検査・治療の検討を医師と相談しながら行っています。それと同時に、私は看護師でもあるので看護業務もやりますし、その場の状況に合わせて両方の役割を果たしています。また、心臓血管外科で働いていた時には、手術の第二助手を務めたり、病棟の患者さんの調子が悪くなった時に電話で要請されて診療に向かうということもありました。

診療看護師として働くうえで、看護師としての強みや大切にしていることを教えてください。

私は、NPでありながら看護師でもあるので、病気のみを診るのではなく、患者さんの話を傾聴することでその人の全体像をアセスメントし、家族も含めた支援を行えるということが強みだと思っています。看護師として働いている時にも、患者さんのアセスメントはしていましたが、NPの資格を取ったことで、経験知のみでなく病態などの根拠となる知識に基づいたアセスメント力や患者さんの経過を予測する力が身についたと思っています。

現在のキャリアにつながっている大学での経験について教えてください。

実習で様々な部署を経験する中で、術前から術後管理、リハビリをみるのができた急性期の実習が特に印象的であったため急性期看護を志望し、就職後ICUに配属となりました。また、大学時代に国家試験の問題を同級生となんども問題を解いたり、切磋琢磨し勉強したことが就職後、現在もその知識は忘れず看護に活かしています。



仕事の様子

今後の目標を教えてください。

NPの人数がまだ少ないので、一緒に働ける人が増えるといいなと思います。NPが数十人いるような病院では、NP支援課としての体制が整っていますが、当院のNPは3名のみのため、人数を増やすとともに教育体制などの整備に貢献していきたいと感じています。

自分の将来ビジョンについては、NP支援課ができたことで医師でもなく、看護師でもないというところで、NPとしてのキャリアアップをどうしていくのが課題と感じています。また、医師の要請によって複数の部署に派遣される可能性があるという点では、それに応えられるよう努力していく必要があると考えています。

在学生へのメッセージ

学生のうちは、よく遊んで、よく学んでください。実際に働いてみないと、学生時代の学習の重要性というのは分からないかもしれません。ですが、私は“もっと勉強しておけば良かったなあ”と心から思っています。特に、看護の基礎となる薬理学・生理学・解剖学、フィジカルアセスメントなどはしっかり学習しておくことが大切だと思います。

そして、今はいろいろな働き方があるので、それほど悩まなくても良いかなと思います。病院に就職してからでも選択肢はたくさんあります。専門看護師や認定看護師、診療看護師、病院の保健師などもありますし、病棟以外の部署（入退院支援など）で活躍することもできます。実習は大変かと思いますが、働いてからは楽しい日々が待っています。

研究のトビラを開く



前月号より始まりました「研究のトビラを開く」。今回は、成人看護学のカルデナス暁東教授です！

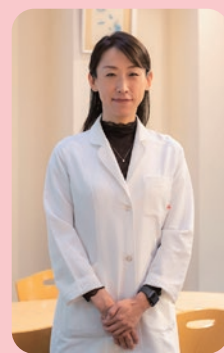
病気になっても自分らしく

生きることを支える外見ケア

膠原病やがんなどの患者は、症状や治療の副作用がボディイメージの変容を生じさせることがあります。これまでに形成された自己概念が揺らぎ、その人の生活の質を低下させると報告されています。メイクアップにはその人の自分らしさを演出し、対人コミュニケーションを円滑にする効果があると言われています。16年前に涙を流した患者の声に応えたい思いで、「外見上の変化のあ

る成人期女性患者の生活の質の維持・向上におけるメイクセラピーの効果」をテーマに、患者にメイクセラピーを実施しています。実施後、「気分評価尺度」やQOL評価尺度、有益性の発見尺度の得点及びストレスバイオマーカーの唾液アミラーゼの量においては、いずれも改善がみられています。現在新たな生理学的指標を用いた客観的評価項目（脳の血流量）を追加しデータを収集しています。

すべての患者は自分らしくイキイキとした生活が送れるように、これからも研究を頑張って進めていきたいです。



Information



Event (4月～11月)

4月	4日(金) 入学式
5月	24日(土) いとすぎ祭(大学祭) 同日第1回オープンキャンパス
6月	21日(土) 第1回大学院説明会

8月	20日(木) 第2回オープンキャンパス
9月	13日(土) 第1回大学院入試 27日(土) 第3回オープンキャンパス
10月	18日(土) 第2回大学院説明会
11月	29日(土) 看護学部推薦選抜入試

オープンキャンパス情報

第1回 2025年5月24日(土) 受験生向けオープンキャンパス(入試対策講座あり)

第2回 2025年8月20日(水) 中高生向けオープンキャンパス(災害看護体験、キャンパスツアーあり)

第3回 2025年9月27日(土) 保護者向けオープンキャンパス(学生支援・学費等の説明、演習教材見学)

★いずれのプログラムも主な対象者を設定していますが、ご家族など付き添いの方と一緒に参加可能です。

★参加申込はLINE友だち優先となりますので、本学LINEアカウントを友だち追加してお待ちください

公開講座および専門職向け研修会情報

■ 公開講座

日 時	講 師	テーマ	開催方式
6月28日(土) 10:00～11:30	性教育コミュニケーター 伏田 綾 氏	男の子のための家庭内性教育 性教育について考えてみませんか？	対面およびオンライン(ZOOM)

■ 専門職向け研修会(医療従事者向け研修会)

日 時	講 師	テーマ	開催方式
7月5日(土) 10:30～12:00	加藤看護師社労士事務所 加藤 明子 氏	労働法と働き方～労働関係の報道から 知る働き方の注意点～	オンライン(ZOOM)
8月2日(土) 10:30～12:00	新潟大学大学院保健学研究科 宮坂 道夫教授	臨床倫理の実践(アドバンス)	オンライン(ZOOM)

SNSにて情報発信中

入試情報やイベント情報などを発信しています。ぜひフォローをお願いします！

LINE公式アカウント



Instagram



JRC.TOYOTACOLLEGE

X



愛知県内赤十字施設 共同Instagram



NISSEKI_AICHI

Vol.41

いとすぎの丘

発行日/2025年5月

編集・発行/日本赤十字豊田看護大学

入試・広報委員会、入試・企画広報課

〒471-8565 豊田市白山町七曲12-33

TEL 0565-36-5111 (代表)

FAX 0565-37-8558

E-Mail kikaku-ka@rctoyota.ac.jp

HP <https://www.rctoyota.ac.jp/>